

特別栽培米研究部会 活活楽楽篤農クラブ
IKIIRAKURAKUTOKUNOUCUB



特別栽培米
環境こだわり農産物

2015年 栽培日記

JA滋賀蒲生町



Vol.9 刈取・搬入編

[2015.9.30]

いよいよ収穫の時期がやって参りました。今年は8月末から9月中旬にかけて長雨が続き、台風も襲来するなど、刈取には厳しい時期が続きました。天候の合間を縫って、近江米が次々とカントリーエレベーターに運ばれてきました。



今年の近江米は8月まで天候も安定し、順調な生育が見込めましたが、折からの長雨が早生品種の刈取時期と重なり、コンバインが圃場に入れない日が続きました。

台風の上陸もあり、稲の倒伏といった被害を受けた圃場もありました。倒伏で稲穂が水に浸かってしまうと、刈取が困難になるほか、果実の成熟が抑制されたり、病害の発生といったリスクが懸念されます。

刈取を済ませられた籾は、主に900kgのお米を積載することができるフレコン(フレキシブル・コンテナ)に詰め込まれて、カントリーエレベーターまで運ばれます。

荷受された籾は乾燥機にかけられ、夜間も職員が交代で泊まり込みをしながら水分を基準値まで引き下げていきます。籾は水分にバラつきが出ないように循環させながら、均一に乾燥させます。最後に籾すりを終わったら、出荷の準備は完了です。

